評価の流れと評価基準について

1 現行

(1)評価の流れ

自己評価

【事業所管課】

(a, b, c, d)

支援策別評価

【事務局(地域福祉課)】

(A, B, C, D)

総合評価(中柱ごと) 【評価・推進等委員会】 (文章)

(2)評価のランク (自己評価及び支援策別評価)

区分	基準	事業実績の目安
a (A)	順調に実施できた	100%以上
b (B)	概ね順調に実施できた	100%未満80%以上
c (C)	実施が低調であった	80%未満60%以上
d (D)	実施に対して課題があり、低調であった	60%未満

2 見直し案

(1)評価の流れ

自己評価

【事業所管課】

(s, a, b, c, d)

成果指標又は活動指標 による達成度に応じて 評価

一次評価(中柱ごと) 【事務局(地域福祉課)】

(文章)

- ・主な目標の達成状況
- ・成果と取組み実績ごとに、自己 評価の個数と、主な成果・取組 み実績
- ・主な評価の分析と今後の課題・対応 等

最終評価(中柱ごと) 【評価・推進等委員会】 (S, A, B, C, D+文章)

(2) 自己評価の基準

区分	基準	実績(指標による達成度)
S	順調に進んでいる	100%以上
a	概ね順調に進んでいる	100%未満80%以上
b	やや遅れている	80%未満60%以上
С	遅れている	60%未満40%以上
d	実施に対して課題があり、低調であった	40%未満

(3) 最終評価の基準(目安)

区分	基準	成果と取組み実績
S	順調に進んでいる	100点満点
A	概ね順調に進んでいる	100点未満80点以上
В	やや遅れている	80点未満60点以上
С	遅れている	60点未満40点以上
D	実施に対して課題があり、低調であった	40点未満

※ [自己評価 s:100点、a:90点、b:70点、c:50点、d:30点] とし、合計点を事業数で割り計算